

令和3年度

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

記入年月日
令和3年4月1日

事務事業名			商工会運営支援事業			事業区分		担当		
政策体系上の位置付け			新規/継続		継続	事務事業No.		04020000525		
総合計画の施策名			0402 商工業の振興		単独/補助		単独		050301	
政策体系	政策名		04 活力ある産業のまちづくり			所属課		商工観光課		
	施策名		02 商工業の振興			課長名				
	手段名		02 ②商工業の経営基盤強化			グループ		商工観光グループ		
	手段名		02 ②商工業の経営基盤強化			担当者名				
財務会計上の位置付け			事業期間							
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し（平成21年度～）	
	01	07	01	02	01	00	商工振興事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入	
法令根拠 桜川市補助金等交付規則										

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要（事務事業の全体像）	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市商工会が、地域の小規模事業者を対象として実施する経営改善普及事業等について、その円滑かつ効率的な推進を図るため、桜川市補助金等交付規則に基づき補助金を交付する。	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>補助金交付事務（申請受付→内容審査→補助金交付決定→補助金交付→実績報告書受付）</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>補助金 10,200,000円</p> <p>■商工会指導検査（隔年）</p> <p>①組織運営関係 ②業務関係 ③会計関係 ④補助金関係</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
補助金交付事務 （申請受付→内容審査→補助金交付決定→補助金交付→実績報告書受付）	商工会への補助額	千円	10,200.00	10,200.00	10,200.00	10,200.00	10,200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
桜川市商工会	商工会の会員数	件	1,336.00	1,320.00	1,320.00	1,320.00	1,320.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
商工会が事務を遂行するために必要な資金を補助し、事務の効果的な推進を図る。	商工会の行う経営指導件数	件	1,123.00	769.00	800.00	800.00	800.00
	商工会の行う講習会開催件数	件	77.00	52.00	55.00	55.00	55.00
	商工会の行う金融幹旋件数	件	121.00	97.00	100.00	100.00	100.00

(3) 投入量（事業費）の推移			01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量	
			（実績）	（実績）	（計画）		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	10,200	10,200	10,200	0
		事業費計（A）	千円	10,200	10,200	10,200	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

02年度事業費 実績（千円）				03年度事業費 予算（千円）			
18 負担金補助及び交付金	10,200			18 負担金補助及び交付金	10,200		
合計				合計			
10,200				10,200			

事務事業名	商工会運営支援事業	事務事業No.	40202000525	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市商工会は、平成21年5月に岩瀬商工会、大和商工会、真壁商工会が合併して設立された。それに伴い、各商工会に支出していた補助金を1本化し、現在の形での助成となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
商工会から運営が厳しい状況にあるので補助金増額の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 商工会の行う経営改善普及事業等の推進を図ることで、小規模事業者の経営の強化、地域商工業の振興、雇用の安定に寄与する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 小規模事業者は地域経済の基盤であり、商工会への支援を通してその経営の発展を図ることは、公益上必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 商工会の行う事業に対する補助金を交付する事業であり、成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 商工会の運営に支障をきたし、小規模事業者等をはじめとして、地域経済全体に悪影響が発生する。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input type="checkbox"/> 余地がない 特になし
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 商工会の事業効果を継続的に検討していくことは必要だが、直ちに削減する余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 商工会は、商工会法に基づいた公益を目的とする団体であり、自治体からの補助金交付は適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	高齢化による廃業が増加傾向にあり、会員数が減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面を伴う経営指導や講習会の機会が減少した。																			
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		情勢により数値の増減はあるが、商工会の活動は、地域経済の振興に寄与していると捉えている。																			
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>